**令和８(2026)年度　国立歴史民俗博物館　共同研究計画書（新規）**

**※フォントサイズ10ptで記入してください。**

|  |  |
| --- | --- |
| 研究区分応募する区分を選択 | □基幹研究 |
| □基盤研究２（館蔵資料型） |
| 研究課題名 | （日本語） |
| （英　語） |
|  | 氏名 | 所属・職名 | 専門分野 |
| 研究代表者 |  | 所属機関・職名 |  |
| 研究副代表者 |  | 国立歴史民俗博物館研究部・職名 |  |
| 研究組織 | 氏名 | 所属機関・職名 | 若手研究者35歳以下◎39歳以下〇 | 専門分野 | 分担課題 |
| ＜記入例＞◎代表者共同研究員共同研究員共同研究員１行空け館内教員館内教員館内教員○副代表者 | 所属機関名・職名所属機関名・職名所属機関名・職名所属機関名・職名１行空け本館研究部・職名本館研究部・職名本館研究部・職名本館研究部・職名 | 　　　◎○ | １行空け | １行空け |
| 外部　　名　　内部　　名　　　計　　　名 |
|  ＲＡの希望 | 　有 □　　無 □ |
| 研究期間 | 令和８(2026)年度　～　令和１０(2028)年度（　３年間　） |

※参加する若手研究者の人数を集計しています

令和**８(2026)**年4月1日現在

35歳以下の方は◎印、39歳以下の方は〇印を付してください

|  |
| --- |
| 他の研究助成状況本欄には、研究代表者が本共同研究に関連して、科研費その他の研究助成制度へ申請しているもの（申請予定を含む。）や採択されているものがある場合は、その内容を記入してください。（機関内部の助成も含みます。） |
| 事業の種別※科研・民間助成等 | 助成期間 | 研究助成名称 | 助成金額（千円）※全期間を対象 | 備考 |
| （例）民間助成 | R8から1年間 | ○○財団「○○○○○」 | 800 | 申請中・申請予定 |
| （例）科研費 | R7.4から3年間 | 基盤研究（**Ｂ**）「○○○○○」 | 2,000 |  |
|  |  |  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| （１）研究目的 | 研究の全体構想と目的について具体的かつ明確に書いてください。 |
| （２）研究計画各年次別 | 研究の目的を達成するための具体的な研究計画、方法について、年次ごとに焦点を絞り、適宜研究分担やその担当者を挙げるなどして、明確に書いてください。経費備考欄と併せて記すことにより、経費支出の妥当性および期待される研究成果との関連性が明確になるよう御留意ください。※研究分担において中心的な役割を果たす人については必ず記入してください。 |

|  |  |
| --- | --- |
|  | （課題名） |
| （３）国内外の研究状況 | 研究の学術的背景について、国内外の研究動向と本研究の位置付け・特色を中心に書いてください。 |
| （４）研 究 の 準 備 状 況 と 期 待 さ れ る 成 果 | 国立歴史民俗博物館の共同研究として実施する必要性を踏まえ、①本研究の準備状況と、②「（２）研究計画各年次別」に基づいて期待される成果について書いてください。 |
| 研究成果公開予定（中間報告・研究報告・出版物刊行・フォーラム・展示・シンポジウムなど） |
| 計画のものに○をつけ、具体的にご記入ください。※年次報告書は毎年提出していただきます。計画的な研究成果の公開に努めてください。１．報告書（『国立歴史民俗博物館研究報告』等）公開予定年度　令和　　年度　２．フォーラム・企画展示・総合展示・国際研究集会・国際シンポジウム・研究セミナー・その他３．収集資料報告（史料、資料、映像、音声、その他）４．その他 |

提出時には青字を削除してください。

※備考欄には、（２）の研究計画との関連性と経費の必要性を記入すること。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 研究経費 | 年度 | 研究経費 | 支出内訳（単位：円） |
| ①国内旅費 | ②外国旅費 | ③備品消耗品購入 | ④役務費 | ⑤通信運搬費 | ⑥謝金 |
| 令和8(2026)年度 |  |   |  |  |   |  |  |
| 令和9(2027)年度 |  |  |  |  |  |  |  |
| 令和10(2028)年度 |  |  |  |  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 令和８(2026)年度の経費の内訳 | ①国内旅費 |  | 月別 | 事項（場所） | 日数 | 人数 | 金額（単位：円） | 備考 |
| 研究会開催 | （例）6月 | 国立歴史民俗博物館 | 1 | 10 | 80,000 |  |
| その他 | （例）10月 | 現地調査 | 3 | 3 | 170,000 | ××家所蔵資料調査 |
| 小計 |  |  |
| ②外国旅費 |  | 月別 | 事項（場所） | 日数 | 人数 | 金額（単位：円） | 備考 |
| 研究会開催 |  |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |
| ③備品消耗品購入 | 品名・事項 | 単価 | 数量 | 金額（単位：円） | 備考 |
| （例）シリコン | 5,000 | 5 | 25,000 | 圧痕分析に使用※その品目の使用目的を具体的に記入してください。 |
| 小計 |  |  |
| ④役務費 | 事項 | 単価 | 数量 | 金額（単位：円） | 備考 |
| ※具体的に記入してください。 |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |
| ⑤通信運搬費 | 事項 | 単価 | 数量 | 金額（単位：円） | 備考 |
| ※具体的に記入してください。 |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |
| ⑥謝金 | 月別 | 事項 | 時給 | 時間 | 日数 | 人数 | 金額（単位：円） | 備考 |
| 　　 |  | 1,080 |  |  |  |  | ※RAとの業務内容の重複は避けてください。※謝金単価は、人間文化研究機構謝金単価表に基づきます。・資料整理等補助謝金は1,080円／時間（年間最大連続１ヶ月以内）です。・調査謝金は、資料カード等作成１件につき、所要時間・困難度に応じ上記5段階の単価です。・このほか、翻訳・通訳や原稿校閲など、単価の設定の判断に迷う場合は、お問合せ下さい。 |
| 月別 | 事項 | 単価 | 件数 | 人数 | 金額（単位：円） | 備考 |
| （例）5月 | 資料目録作成・撮影 | 90100250550800 | 36 | 1 | 28,800 | 〇〇家資料（一括資料）の目録作成と管理用画像撮影※業務内容を具体的に記入してください。 |
| 小計 |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
|  | （課題名） |
| 研 究 業 績本欄には、研究代表者が発表した論文、著書、工業所有権等、招待講演のうち、本研究計画の実行可能性を説明する上で、その根拠となる重要なものに限って選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、発表年（暦年）毎に点線を引いて区別（点線は移動可）し、記入してください。館内教員・共同研究員の業績については、代表的な研究業績１本を、個人ごとに記入してください。ただし、学術誌等へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限ります。研究代表者・館内教員・共同研究員の研究業績を併せて、概ね１頁におさまるようにご記入ください。また、大学院博士後期課程の学生を共同研究員とする場合は、査読付論考を記入し、別紙指導教員等による推薦書を併せてご提出ください。 |
| 発表年 | 研究代表者 | 発表論文名・著書名等・例えば発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年(西暦)について記入してください。・以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。・著者名が多数にわたる場合は、研究代表者・館内教員・共同研究員にアンダーラインを付したうえで、主な著者を数名記入し以下を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても可。 |
|  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 発表年 | 館内教員・共同研究員代表的なもの１人につき１本ずつ記入 | 発表論文名・著書名等・例えば発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年(西暦)について記入してください。・以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。・著者名が多数にわたる場合は、研究代表者・館内教員・共同研究員にアンダーラインを付したうえで、主な著者を数名記入し以下を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても可。 |
|  |  |